

**第5回「まちづくり政策研究会」開催報告****第5回『まちづくり政策研究会』(以下研究会と略す)**

9月15日(木)に東京都生協連会議室にて研究会を開催しました。はじめに、関西国際大学教授の長谷憲明氏に第4回の公開講演会となります『福祉行政と市民参加について』と題して、ご講演いただきました。

【 講演概略 】**『福祉行政と市民参加について』**

最初に、元行政職員としての立場と、現在大学教員として、NPOの理事としてご活躍されている立場から、「市民参画とは何か、NPOの存在意義とは」と問題提起され、市民団体が抱える人材不足、資金不足、今後の社会との関わりについての戦略不足などの現状を説明され、次に、福祉行政に対する住民の関わりについての概括を説明されました。

戦後の救貧対策である「措置の時代」における「生活と健康を守る会」、「青い芝の会」などの利害関係団体による運動を経て、「福祉計画の時代」になり、市民が計画作りに参加し、NPO、任意団体が生まれ、現在も継続しているが、市民参加には意識の問題、行政へどのくらい意見反映されているのか等の問題がある。例えば高浜市地域福祉計画での市民参加では、政策全体を変えるほどのインパクトや構造的なものまでは、いっていなかった・・・など、市民参加の限界について話され、今後の福祉行政への市民参加のあり方については、具体的に現在、三木市(兵庫県)で行っている地域福祉計画づくりについて説明されました。行政、大学が協働し、そこに住民の主体性を確立し、市の強みと団体の強みを連携して、旧来型の組織も巻き込みながら組織を作っていきたいと話されました。



講演会後に引き続き「研究会」が開かれ、長谷先生のご講演についての議論と、先生が理事をされている「サポートハウス年輪」での具体的な取り組みや生協での取り組みについて意見交換を行いました。

第6回「研究会」は11月29日(火)に「サービス・流通連合のまちづくりの取り組み」についての公開講演会を日本サービス・流通労働組合連合 政策局長 小林斉氏と NPO 法人カッセ@KOGANEI 代表理事 井村穰氏を講師に、ご講演をお願い致しました。